

第6学年 図画工作科学習指導案

1 題材名

「墨から感じる形や色」 (絵に表す)

2 指導観

(1) こんな児童だから

本学級の児童は、これまでに自分の思いを絵で表したり、立体に表わしたりする活動に意欲的に取り組んできている。事前に行ったアンケートによると、「図工が楽しい」と97%の子どもが答えている。しかし、その中にはイメージが湧いてこないという子どもが21%いる。また、1学期題材「気持ちを表す形や色」では、目に見えない気持ちをどのように表現したらよいか戸惑う児童もいたが、友だちと作品について、形や色でどのように心象表現したのかを話し、表現のよさをみつける活動が楽しかったと全員の児童が答えた。そこで、自分の思いを形や色で表現し、友だちと作品について交流することや、めあてに沿った振り返りを行うことで、自分や友達が見つけた表現からイメージをふくらませていく楽しさが味わえる本題材を設定した。

(2) こんな題材で

本題材は、墨と水でできる色の調子や使う用具でできる多様な形を感じ取りながら、発想を広げ、自ら表現をつくりだす力を身に付けることをねらいとしている。墨は書写で文字を書く馴染み深い材料ではあるが、絵の具代わりに使うことは新鮮で、興味をもちながら濃淡のおもしろさ、濃い墨の力強さ、薄い墨のにじみの美しさなどの墨のよさを味わうことができる。

まず、墨と水を調整しながら、筆や筆以外の描画材料の使い方を工夫して自分で考えた技法を試しながら墨でかくことを楽しむ。次に、自分と友達が見つけた技法を切ったり貼ったりつないだりして組み合わせたものからイメージを自由にふくらませ、自分の表したいことを決める。最後に、自分の表したいことに近くように書き足して表す。このように気持ちのおもむくままに墨で表す心地よさを味わいながら、試しの活動を設定することや、自分と友達の技法のお気に入りを選ばせることは、自分や友達の感じ方や考え方、表し方のよさに気付き大切にすることができる。

また、本題材は表現の(2)ウ【表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かして使うとともに、表現に適した方法などを組み合わせて表すこと】と特に関連が深く、一人一人が自らの表現をつくりだすことができる児童を育む点でも意義深い題材である。






(3) このように指導して

- 発想・構想の段階においては、体験活動を設定することで、墨に十分に親しみをもたせながら、自分の思いに合った技法を見つけ、発想を広げさせる。その際、大きな和紙に4～5人のグループで試しの活動をさせることで、自然な交流の中で互いの活動や技法の広がりをもたせる。その後、個人の活動時間を設定し自分の表現に没頭させる。その中でお気に入りの1枚を選び、その他の1枚を友達と交換させる。
- 表現の段階においては、まず2枚選んだ理由を確認させ、自分と友達の表現を切ったり貼ったりつないだりして組み合わせ「～な感じ」と発想させる。次にもっと「～な感じ」を表すために、付け加え表現させる。最後に自分の作品に題名を付け、互いの作品を鑑賞し合う。そして、図工ノートで自分の思いをどれほど表現できたものなのかを表し方の組み合わせや墨の濃淡の視点で振り返らせることで、次時のめあてをもたせる。
- 鑑賞の段階においては、一つ一つの作品の表現のよさやちがいに気付かせるために、自分の思いを書いた作品紹介カードを裏返して作品の横に置き、鑑賞し合う。方法として、まずじっくり作品を鑑賞した後に裏返し作品紹介カードを読むことを伝える。次に、友達の作品を見て感じたことを付箋に書かせ、友だちの作品紹介カードの裏に貼らせる。最後に友達からももらったコメントを読ませたあと、図工ノートに振り返りを書かせ、自分の思いが伝わったか、確かめさせる。

3 題材目標

- 墨と水でできる形や色に興味をもち、絵に表わすことに取り組んでいる。(造形への関心・意欲・態度)
- 墨の色の濃淡や様子を工夫しながら、表し方を考えることができる。(発想や構想の能力)
- 筆や用具を活用しながら表し方を工夫することができる。(創造的な技能)
- 自分や友人の作品を見合ったり、話し合ったりして、墨の美しさや表し方のよさ、面白さを感じ取ることができる。(鑑賞の能力)

4 学習計画（全5時間）

過程 配時	学習活動	手だて（※） ふりかえり活動に関する手だて（◆）	児童の姿
発想 構想 ②	<p>1 墨と水と描画材料を組み合わせてできる表現方法を試す。</p> <p>(1) 墨の濃淡の感じや用具の扱い方を考えながらいろいろな技法を試し、体験する。</p> <p>(2) 自分のお気に入りを選び、その他の1枚を友達と交換する。</p>	<p>※ 墨の濃淡のつくり方、用具の使い方を演示する。</p> <p>※ 活動がしやすい場づくりを行う。</p> <p>※ 自然と交流が生まれるようにグループで活動をした後、一人で試させる。</p> <p>※ 一人の活動の時には線・にじみ・筆以外の表現を分けて試させる。</p> <p>※ 墨に親しみを感じるように体験活動の時間を十分とる。</p> <p>◆ 次時のめあてにつながるように、図工ノートに自分や友達の表現のよさを振り返らせる。</p>	<p>◎ 墨の濃淡の感じや用具の扱い方を考えながらいろいろな技法を試している。</p> <div data-bbox="1082 369 1422 465" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>水を加えてスポイトを使うとこんな表現になるんだ。刷毛はどんな感じになるのかな。</p> </div>  <p>◎ なぜお気に入りなのか、を考えながら選んでいる。</p> <div data-bbox="1098 723 1453 943" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>私の試したこれは、うすい色でにじんだ感じが優しい感じがするから気に入ったな。友達のこの線は曲線で風のような感じがして気に入ったよ。</p> </div> 
表現 ② 本時 1/2	<p>3 自分の思いに合った表し方を選び、工夫しながら表す。</p> <p>(1) 自分の作品と友達の作品を、切ったり貼ったりつないだりして組み合わせ「～な感じ」をイメージする。</p> <p>(2) さらに「～な感じ」に近づくように、書き足す。</p> <p>(3) 自分の作品に題名を付け、鑑賞し合う。</p> <p>4 前時に表した自分の作品を鑑賞し、さらに工夫できるところはないか考え新たに表現する。</p>	<p>※ 活動がしやすい場づくりを行う。</p> <p>※ 自然と交流が生まれるように4人グループで活動をする。</p> <p>※ 机間指導をしながら、工夫しているところを賞賛したり、つまずきに応じて助言したりする。</p> <p>◆ 図工ノートで自分の思いをどれほど表現できたのか視覚的に振り返らせることで、どんな方法がうまくいったのか、やさらに工夫したいことなど、次時につながるめあてをもたせる。</p>	<p>◎ 工夫して表現をしている。</p> <div data-bbox="970 1025 1316 1160" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>自分の技法の中に友達のこの部分を切って、ここに置こうかな。うん、良い感じだな。貼り付けよう。</p> </div>  <div data-bbox="970 1205 1278 1339" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>自分のこの技法と友達のこの技法を組み合わせると、「ホームランを打った時の嬉しい感じ」がする。</p> </div> <p>◎ 図工ノートをかいてより具体的で、次時につながる振り返り活動をしている。</p> <div data-bbox="1074 1529 1445 1760" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>今日は70%達成できたな。にじみを重ねると優しい花びらみたいな表現ができた。次の時間は濃淡をつけて曲線をかきたいな。そしたらもっと「優しい春の感じ」が表せそうだな。</p> </div> 
鑑賞 ①	<p>5 自分や友達の表現のよさを話し合う。</p>	<p>※ 墨の濃淡、表し方の組み合わせの視点を通して、鑑賞させる。</p> <p>◆ 鑑賞し、友達のコメントを読んだ後に、振り返りをさせることで、自分の思いが表現できたか確かめさせる。</p>	<p>◎ 表現主題の達成度、技法の組み合わせ、墨の濃淡、などについて話し合い、墨の美しさや、表現のよさや楽しさを感じ取っている。</p> <div data-bbox="954 1955 1321 2145" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>自分が気付かなかったことも見つけてくれた。もっと自分の作品が好きになったよ。友達の考え方や表し方がみんな違っておもしろかった。この学習は楽しかったな。</p> </div> 

5 本時の指導について

(1) 本時の目標





- 自分や友達が見つけた技法から発想し、表したいことに近づくように、墨の濃淡や様子を工夫しながら表現している。
(発想や構想の能力)

(2) 本時指導の重点

本時は、前時に見つけた自分や友達の技法に付け加えをし、表したいことに近付ける活動を行う。児童が自分の表したいことに近付けるための工夫として、技法の組み合わせや墨の濃淡などについて考えられるようにする。そのために、前時までの児童の振り返りの記述をもとにして、以下のことを行う。

- 互いの表現のよさを生かしていきけるようなグルーピングの工夫および活動の場の設定。
- 終末時に図工ノートで自分の思いをどれほど表現できたのか視覚的に振り返らせることで、どんな方法がうまくいったのか、やさらに工夫したいことなど次時につながるめあてをもたせる。

(3) 本時の展開

学習活動	手だて (※) ふりかえり活動に関する手だて (◆)	子どもの姿
<p>1 前時の学習を振り返り、学習のめあてをもつ</p> <p>(1) 2枚選んだ理由を伝え合う。</p> <p>(2) 学習のめあてを知る。</p> <p>— めあて —</p> <p>自分の表したいことに近付けるために工夫しながら表現しよう。</p>	<p>※ グループは表現主題が似ているであろう4人でつくる。</p> <p>※ 本時めあてにつながるように、前時に見つけた技法のよさを伝え合わせる。</p>	<p>◎ 気に入った理由を話している。</p> <div data-bbox="970 763 1294 887" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>選んだ理由は、自分のは、元気な感じが好きだからだよ。友達ののは、線の形が丸くて重なりが面白いからだよ。</p> </div> 
<p>2 技法を生かして表現する。</p> <p>(1) 自分の作品と友達の作品を、切ったり貼ったりつないだりして組み合わせ「～な感じ」をイメージする。</p> <p>(2) さらに「～な感じ」に近づくように、工夫しながら書き足す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 表し方の組み合わせ ・ 墨の濃淡 <p>(3) 自分の作品に題名を付け、鑑賞し合う。</p>	<p>※ 学習の流れを掲示し、目安の時間を知らせる。</p> <p>※ 机間指導しながら必要に応じて助言をする。</p> <p>※ 「思い切りコーナー」を設け、思い切り活動したい児童には場所を紹介する。</p>	<p>◎ 様々な方向から鑑賞して発想を広げている。</p> <div data-bbox="959 1122 1437 1346" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自分の技法の中に友達のこの部分を切って、ここに置こうかな。うん、良い感じだな。貼り付けよう。</p> <p>自分のこの技法と友達のこの技法を組み合わせると、「ホームランを打った時の嬉しい感じ」がする。</p> </div>  <p>◎ 工夫して表現をしている。</p> <div data-bbox="970 1424 1278 1559" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>この組み合わせは元気な感じだから、もっと嬉しさを付け足そう。刷毛を使って、薄い墨で表そう。</p> </div>  <p>◎ 友だちの表現のよさを見つけ、参考にしている。</p> <div data-bbox="959 1693 1294 1850" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>この線の細さとくるくるの形で楽しい感じがするな。丸い点はリズムを感じるぞ。表現主題は「メリーゴーランドに乗った楽しい感じ」か！なるほど！</p> </div> 
<p>3 活動を振り返り、次時の見通しをもつ。</p> <p>(1) 図工ノートで振り返り、次時の活動のめあてをもつ。</p>	<p>◆ 表し方の組み合わせと墨の濃淡の視点で振り返らせる。</p>	<p>◎ 視点に沿って、次時につながる振り返りをしている。</p> <div data-bbox="959 1973 1437 2186" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>今日は60%達成できたぞ。風の形や濃淡はうまくいったけど、次の時間は友達から学んだ、背景の工夫をしよう。筆の線だけでなく、スポットで花びらを表現したいな。</p> </div> 